

問

刑法各論の基礎的事項についての理解を問う。問題の所在を具体例等によって明らかにし、後行行為に横領罪が成立するか、成立した場合の先行の横領罪との罪数関係を、判例の立場にも触れながら論ずると良い。

問

攻撃を予期しながら攻撃者の下に出向いた場合における正当防衛の成否という、最決平成 29 年 4 月 26 日を契機に議論されている問題を取り上げた(甲の罪責)。さらに、そのような状況における第三者防衛の成否についても尋ねている(乙の罪責)。